

事例で学ぶOTに必要な会話術

大先輩達の頭の中ではどうなってどう考えているのか？！
～事例を通して見えている世界を徹底解析～

対面講義だからこそできるコミュニケーション技術を直接伝授

令和6年11月17日(日) 9:55～ 悩んでいる方大集合!!

時間	テーマ・講師
9:55～10:00	オリエンテーション
10:00～11:45	高齢な患者さん、利用者さんとの会話あるある ー「もう死んでもいい」こんな言葉に困ったことはありませんか？ー  講師：守口恭子先生（健康科学大学名誉教授） 「高齢期における認知症のある人の生活と作業療法」 「老年期の作業療法」の著者 認知症や高齢者に関わる分野で多数講演 
12:45～14:30	ウェルビーイングを促進する関わり方 ーA-QOAを指標に活動の質を高めようー  講師：白井はる奈先生（佛教大学准教授） 「認知症へのアプローチ」 大学では「作業とウェルビーイング」を研究 A-QOAの開発者の一人でその普及に尽力されている 「～ウェルビーイングを高める作業療法的視点～」の著者  講師より：「A-QOA」について 「A-QOA」とは『人が活動を行っている際の活動の質を観察から評価する評価法です。活動の質とは、「活動と人との結びつきの強さ」のことであり、活動中の様子、感情の表れ、コミュニケーションなどを見て判断します。』
14:30～14:40	アンケート配布後終了

会場

ウェル戸畑 83・84会議室
(〒804-0067 福岡県北九州市戸畑区汐井町1-6)

定員

60名

※お車でお越しの際はウェル戸畑駐車場、または近隣の有料駐車場をご利用ください。

参加費

会員(他のOT県士会員、PT・ST福岡県士会員も含む)：1000円
非会員(日本作業療法士協会会員のみも含む)：8000円
学生：500円
その他(上記以外)：3000円



公益社団法人

福岡県作業療法協会

Welcome to Fukuoka OT Association

老年期分野では2023年度より会員の階層性知識の習得を目標に、3ヵ年計画を進めています。1年目は、社会状況を踏まえた基礎的知識のアップデート、2年目は基礎知識を得たうえでの応用、3年目はこれらを踏まえて老年期作業療法と先進技術の活用となります。

今年度は2年目となり、応用ということで実践的な内容となっています。

昨今オンライン講義が主流となってきていますが、今回はあえて**対面**での講義としています。大先輩方がリハビリ中どんなことを考えながら会話をしているのか…頭の中を覗き見ながら対面講義だからこそ出来る**コミュニケーションの成り立ち**を一緒に考えたいと思います。

申込み方法

下記URL、またはQRコードにてお申し込みください

URL <https://peatix.com/event/4084859>



申し込み期間：令和6年9月20日0:00～11月2日 23:59

以下のURLまたはQRコードからPeatixのチケットをお求めください。この手続きが申込みとなります。参加定数に達しました時点で締め切らせていただきます。申し込みが定員に達した時点で、キャンセル待ちチケットを参加定数の1割まで販売致しますので、申し込んでください。

※Peatixの利用には、スマートフォンによるアプリ、もしくはPCが必要です。事前にアプリのインストール、アカウントの登録が必要です。研修会に関するミーティングIDなどの連絡もPeatixにて行います。**申し込み後ログアウトしないようお願いします。**スマホなどの通知を「許可」の状態にしてください。問い合わせについても、Peatixから直接行うことが可能です。

注意事項

1. 研修会の資料は当日会場にて配布致します。
2. 参加希望者が定員に達した場合、キャンセル待ちチケットをご利用ください。キャンセルが出次第、キャンセル待ちチケット購入順に連絡させていただきます。キャンセル待ちチケットの有効期限は11月2日までとさせていただきます。
3. 支払いの方法によって手数料がかかりますのでご了承ください。
4. 申し込みをキャンセルした場合、支払いの方法によってキャンセル料が発生する場合があります。その場合のキャンセル料は自己負担となります。詳細はPeatixホームページにてご確認ください。（キャンセル可能期日：研修会前日まで）
5. 天候等により、研修会の開催が危ぶまれる場合は、前日12:00までにPeatixのメールより連絡させていただきます。

問い合わせ先

福岡県作業療法協会 教育部老年期分野

高野 健太（リハビリテーションセンターODETTO）

mail : fotk.rounenki00@gmail.com



公益社団法人

福岡県作業療法協会

Welcom to Fukuoka OT Association